

報道発表資料
平成24年5月25日
気象庁

第137回気象記念日について
－「気象業務はいま 2012」を刊行します－

平成24年6月1日（金）は、第137回気象記念日です。気象庁では次の記念行事等を行います。

- 1 第137回気象記念日式典を行います。式典の概要は別紙1－1、気象庁業績表彰受賞者は別紙1－2のとおりです。式典は報道機関に公開します（会場内での撮影が可能です）。
- 2 「気象業務はいま 2012」を刊行します。概要は別紙2－1のとおりです。

※ 気象記念日は、気象庁の前身である東京気象台が明治8(1875)年6月1日に設立されたことを記念し、昭和17(1942)年に制定されました。

本件問い合わせ先：気象庁総務部総務課広報室
電話 03-3212-8341 内線(2117)

第 137 回気象記念日式典（概要）

1 日 時 平成 24 年 6 月 1 日（金） 14 時 00 分～14 時 40 分

2 場 所 気象庁講堂

3 式典次第

開式の辞

国歌斉唱

気象庁長官式辞

国土交通大臣あいさつ

国土交通大臣表彰

気象庁長官表彰

閉式の辞

平成 24 年 6 月 1 日付

第 137 回「気象記念日」 気象庁業績表彰受賞者名簿

【国土交通大臣表彰】

1. 船舶（気象通報） 1 隻

気象業務に対する深い理解のもとに多年にわたり海上気象の観測通報を確実に励行し
気象業務の発展に寄与した功績

番号	被 表 彰 者		
	所 属	船 名	備 考
1	東京海洋大学	海鷹丸 殿	平成 18 年長官表彰

【気象庁長官表彰】

1. 一般功績 2 団体

番号	被 表 彰 者	功 績 事 項
1	株式会社 エヌ・ティ・ティ・ドコモ 殿	平成 23 年東北地方太平洋沖地震の対応にあたり気象観測データの提供を行い気象の監視及び予測の確保に貢献した功績
2	吉井 敏尅 殿	多年にわたり地震予知情報業務の推進に寄与した功績

2. 委託観測所（団体） 35 団体

多年にわたり地域気象観測所の委託観測業務に献身的に協力し気象業務に寄与した功績

番号	観測所名	被 表 彰 者
1	くりさわ 栗沢	岩見沢市栗沢支所 殿
2	きもべつ 喜茂別	喜茂別中学校 殿
3	おだのさわ 小田野沢	小田野沢漁業協同組合 殿
4	みさわ 三沢	三沢市役所 殿
5	とわだ 十和田	地方独立行政法人青森県産業技術センター農林総合研究所 殿
6	しおがま 塩釜	塩竈市水道部梅の宮浄水場 殿
7	おがつ 雄勝	雄勝中学校 殿
8	よろいばた 鎧畑	秋田県鎧畑ダム管理事務所 殿
9	こしの 越廼	越前丹生農業協同組合 殿
10	みはま 美浜	福井県園芸試験場 殿

番号	観測所名	被表彰者
11	もんぜん 門前	輪島市 殿
12	くろほね 黒保根	桐生市 殿
13	まき 巻	新潟県農業大学校 殿
14	むらまつ 村松	五泉市消防本部 殿
15	いりひろせ 入広瀬	入広瀬会館 殿
16	とおかまち 十日町	小泉集団栽培組合 殿
17	ひたち 日立	日立市 殿
18	か け 加計	安芸太田町加計支所 殿
19	おおたけ 大竹	大竹市消防本部 殿
20	ながおきょう 長岡京	乙訓消防組合 殿
21	さ が 佐賀	黒潮町役場佐賀支所 殿
22	ひけた 引田	東かがわ市立引田小学校 殿
23	くらはし 倉橋	呉市市民部倉橋市民センター 殿
24	だいせん 大山	大山町役場水道課 殿
25	かぐめよし 頂吉	北九州市立かぐめよし少年自然の家 殿
26	いつき 五木	五木村役場 殿
27	ふるえ 古江	延岡市北浦町総合支所 殿
28	まきのほら 牧之原	霧島市福山総合支所 殿
29	かのや 鹿屋	鹿児島県立鹿屋農業高等学校 殿
30	おおすみ 大隅	曾於市大隅支所 殿
31	おのあいだ 尾之間	屋久島町尾之間支所 殿
32	きほく 輝北	鹿屋市輝北総合支所 殿
33	かみなか 上中	南種子町 殿
34	さ た 佐多	南大隅町佐多支所 殿
35	おおくち 大口	鹿児島県立伊佐農林高等学校 殿

3. 船舶（気象通報） 3隻

多年にわたり海上気象の観測通報を確実に励行し気象業務の発展に寄与した功績

番号	被表彰者	
	所属	船名
1	福島県立いわき海星高等学校	福島丸 殿
2	北海道教育庁	北鳳丸 殿
3	千葉県立館山総合高等学校	千潮丸 殿

4. 船舶（表層水温・海流通報） 2隻

多年にわたり海洋の表層水温の観測通報に積極的に協力し気象業務に寄与した功績

番号	被表彰者	
	所属	船名
1	国立大学法人北海道大学	うしお丸 殿
2	徳島県立農林水産総合技術支援センター 水産研究所	とくしま 殿

5. 漁船 6隻

海上気象の観測通報に積極的に協力し気象業務に寄与した功績

番号	被表彰者	
	所属	漁船名
1	有限会社渡辺水産	第二十八丸 殿
2	音代漁業株式会社	第一音代丸 殿
3	有限会社源吉丸漁業	第27源吉丸 殿
4	若潮水産株式会社	第108若潮丸 殿
5	濱田水産株式会社	第20共進丸 殿
6	岩手県立水産高等学校共同実習船	りあす丸 殿

「気象業務はいま 2012」の刊行について

「気象業務はいま」は、広く国民の皆様に、気象庁の業務の全体像をご理解いただくことを目的として毎年刊行しており、今回の「気象業務はいま 2012」は、気象記念日（6月1日）に刊行します。

構成は別紙 2-2 のとおりで、主な内容は、次のとおりとなっております。

- ・ 特集 1 「命を守るための避難と防災情報」では、昨年発生した東日本大震災や台風第 12 号による災害を踏まえ、住民が自らの判断で自然災害から命を守る行動をとるための知識・意識・姿勢、その判断を支援する防災情報について紹介しています。
- ・ 特集 2 「津波警報改善に向けた取り組み」では、東北地方太平洋沖地震を教訓として検討を進めてきた津波警報の改善について、有識者、報道機関、防災関係機関等にご議論いただいた勉強会や検討会の経緯とそれらを踏まえた具体的な改善策について紹介しました。
- ・ トピックスでは、この 1 年の主な自然災害の状況や気象庁における新たな取り組みを記述しました。
- ・ 第 1 部「気象業務の現状と今後」では、防災情報をはじめとする各種情報について解説するとともに、気象・海洋や地震・火山などの監視・予測、技術開発といった気象庁の取り組みを紹介しています。
- ・ 第 2 部「最近の気象・地震・火山・地球環境の状況」では、昨年の気象災害や地震、火山活動、異常気象などを紹介しています。

「気象業務はいま 2012」は、6月1日以降、全国の書店及び政府刊行物センターから注文販売で取り扱います。また、気象庁ホームページの「気象庁関連の刊行物・レポート」ページにも掲載します。
(<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/index.html>)

「気象業務はいま 2012」の構成

○特集1 命を守るための避難と防災情報

- (1) 平成23年の災害に見る避難行動と課題
- (2) 避難の判断を支援する防災情報
- (3) 自然災害から身を守るために

○特集2 津波警報改善に向けた取り組み

- (1) 津波警報等の課題と改善に向けた検討
- (2) 津波警報等の具体的な改善
- (3) 今後の取り組み

○トピックス

- (1) 「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」の余震活動と情報提供
- (2) 長周期地震動に関する情報のあり方検討会について
- (3) 伊豆東部火山群における「地震活動の予測情報」と「噴火警戒レベル」
- (4) スーパーコンピュータシステムの更新
- (5) 平成23年(2011年)の顕著な火山活動
- (6) 気候変動や異常気象に対応するための気候情報の利活用の推進
- (7) 海外の異常気象について国内外に情報を提供～タイの洪水の概要とアジア太平洋気候
- (8) 第2回アジア・オセアニア気象衛星利用者会議

○第1部 気象業務の現状と今後

第1章 国民の安全・安心を支える気象情報

- (1) 気象の監視・予測
- (2) 地震・津波と火山に関する情報
- (3) 地球環境に関する情報
- (4) 航空の安全などのための情報
- (5) 民間の気象事業

第2章 気象業務を高度化するための研究開発

第3章 気象業務の国際協力と世界への貢献

○第2部 最近の気象・地震・火山・地球環境の状況

○参考資料 全国気象官署等一覧、用語集、索引